

方針

「観光」を域外需要を呼び込み、本県の基幹産業として発展させ「誇りの持てるふるさとづくり」につなげるため、ひだ・みのじまんキャンペーン（ぎふデスティネーションキャンペーン）による気運の盛り上げを「ぎふ清流国体」まで継続させる、ポストDC「**飛騨・美濃じまん観光キャンペーン**」を全県あげて実施します。

また、本県における課題を踏まえながら、豊かで優れた地域資源の活用・ブランド化の推進を図り、交流人口の拡大、**観光消費額の拡大**を目指します。

【課題】

- ・現代の旅行者が求める「癒し」「歴史」「風情」などを感じる観光資源を有しているが、**知名度の低さ**から、積極的に行き先として選ばれていない。
- ・ニーズの多様化や岐阜県の特性を踏まえた**観光資源の活用**が十分になされていない。
- ・インフラの整備に伴い、中部圏内の結接点となった**地の利をいかした広域観光**を進めることが求められている。

飛騨・美濃じまん観光キャンペーン

重点テーマを定めた集中的な誘客宣伝

ブランド力のある観光資源による「岐阜県」の知名度アップ

観光消費額を拡大し、観光産業を発展させるための重点項目

重点目標 「知名度の向上」

4つの重点分野

広域観光

産業観光

海外誘客

歴史・自然・文化にふれる観光

政策体系

ぎふ清流国体

飛騨・美濃じまん
観光キャンペーン

重点テーマを定めた集中的な観光客誘致の展開

全県エリアによる展開を図りながら、年度ごとに、観光資源からみた「重点テーマ」と交通手段のターゲットを設定した集中的な展開を図り、「ぎふ清流国体」につなげる。

観光消費額の拡大

観光消費額の拡大 → 観光産業の発展 → 誇りの持てるふるさと

情報発信、PR事業の充実

「岐阜県の観光地」としての知名度の低さなどの課題を踏まえ、

- ・ターゲット、テーマを設定した宣伝活動
- ・観光客のニーズに応えるきめ細かな情報発信

旅行者が活用する情報媒体（ガイドブック、インターネット、旅行専門誌、女性誌等）を中心とし、媒体ごとに効果的な戦略で情報発信を展開
岐阜県のイメージコピーの活用
観光大使の活用

岐阜県の「知名度の向上」

観光客の拡大

滞在時間の延長

リピーター確保

お土産、食べ物
地場産品等のブランド化、販売額拡大

広域観光の推進

- ・インフラ整備に伴い「点から線、線から面」へと広がりのある観光ルートを提供。特色ある観光資源の組み合わせにより、新たな魅力を創出

海外誘客の推進

- ・近隣県やビジット・ジャパン・キャンペーンとの連携、中部国際空港などのインフラ整備をいかした誘客促進事業を展開
- ・国別の旅行形態に応じた効果的な誘客促進事業

産業観光の推進

- ・産業観光の育成と底上げを図るため、受入側である企業への啓発、施設ガイドの育成などの事業を展開
- ・テーマ性のあるモデルコースの設定や旅行商品の開発

歴史・自然・文化にふれる観光

- ・地域の魅力の再発見、魅力づくり「岐阜の宝もの」の取り組みを促進
- ・本県の有する豊かで優れた地域資源を活用した体験型滞在型観光を推進

受入体制の充実

- ・ソフトインフラ・人づくり研修
- ・ハードインフラ研修
- ボランティアガイド研修、ホスピタリティ研修
- 外国語看板、外国語ガイドブック作成研修

岐阜県ブランド戦略

- 掘り起こし支援
 - ・地域ブランドの「芽」探し
 - ・スタートアップ支援 等
- 地域ブランド力の向上支援
 - ・新商品開発 / 人材育成 / ブランド構築 / 販路開拓 等
- トップブランドの創出支援
 - ・全国に誇れる地域ブランドの創出に向けた支援

支援等

地域におけるきめ細やかな取り組み

地域の課題、特性をいかした観光振興につながる「飛騨・美濃じまん運動」を促進するため、振興局が地域会議、市町村、NPO等と協働した取り組みを実施

地域の取り組みへの支援

「岐阜県地域活性化ファンド」や「飛騨・美濃じまん育成支援事業費補助金」の新設などにより、観光振興につながる地域の取り組みを支援

地域資源をいかした幅広い取り組み

見つけだそう
 ・歴史、自然、文化の再発見
 ・ふるさと教育の推進

創りだそう
 ・ふるさとじまんの育成・創出
 ・ブランド力ある商品開発

知ってもらおう
 ・情報の発信
 ・県産品の活用・販売

もの

<ねらい> 飛騨牛のようにブランド力のある「もの」の創造、「つくり上手の売り下手」からの脱却

岐阜県らしさをアピールできる県産品のブランド化を推進

「ぎふ清流ブランド」の研究開発

「ここにしかない」「ここでしか買えない・楽しめない」情報発信
 ~特徴ある販売店や商品の掘り起こし~

岐阜県ならではの「産業資源」の利活用

まち

<ねらい> 住む人に誇りを持てるまちづくり

美しい景観を守り、創り、活かす活動の展開

ひと

<ねらい> 地域の人々同士、地域社会と子どもたちとの関係を深めることにより、地域の「絆」を再生し、地域への「愛着心」を涵養する

みんなで盛り上げよう「ぎふ清流国体」

本県唯一のプロスポーツチーム「FC岐阜」を支え、地域活性化

5つの分野のコンテンツを存分に活用した「ふるさと教育」を推進

自然

<ねらい> 「清流」をキーワードに岐阜の自然・環境を県民の誇りに

「ぎふエコプロジェクト・水との共生」の推進
 ~清流の美しい水辺、緑豊かな山野を守り遺す活動~

文化
(歴史)

<ねらい> 地域の誇りにつながる文化の振興と、文化の力を活用した地域づくりの推進

世界文化遺産・世界無形遺産への登録を目指した活動の支援

身の回りの歴史・文化に触れ、学ぶ機会の提供

総合的な数値目標

先に掲げた取り組みを通じて「観光王国飛騨・美濃の実現」を目指すため、5つの努力目標を定め、継続した気運の盛り上げを図ります。

観光客数	5,037 万人 (平成18年)	➡	6,000 万人 (20%増) (平成24年)	愛・地球博の影響を受けて大きく増加したここ5年間(H13~H18)の伸び率(120%)を確保
宿泊数	433 万人 (平成18年)	➡	520 万人 (20%増) (平成24年)	県内への観光入り込み客数の伸び率と同程度
外国人宿泊数	18.8 万人 (平成18年)	➡	26.0 万人 (40%増) (平成24年)	国の観光立国基本計画の目標値(36%増)を上回る水準
観光消費額	2,810 億円 (平成18年)	➡	3,400 億円 (20%増) (平成24年)	観光入り込み客数6,000万人が達成した場合より推計
観光に行ってみたい県	34 位	➡	20 位以内	

「観光客数」「宿泊数」「外国人宿泊数」「観光消費額」の平成18年数値は、岐阜県観光レクリエーション動態調査「観光に行ってみたい県」順位は、平成17年度実施「岐阜県地域ブランド調査」